

小単元名 p.18～21	地図帳を開こう	小単元 の目標	地図の基本的な見方・使い方について知り、地図帳を使って調べたり、地図記号や等高線の意味を理解したりすることができるようにする。
-----------------	---------	------------	---

p.18
◎ 1 地図から分かること 2 正しい方向を知るには

- ・ 地図で何が分かるのかを知り、便利な物であることを知り、興味・関心を持たせる。
- ・ 左右と違い、東西南北の方位を使うと正しく方向を表せることを知り、教室の方位を確かめる。

つ
か
む

地図っていろいろなことが分かって便利だね。

地図帳を使って、もっといろいろなことを調べたいな。

学習問題
地図帳の見方を知り、使ってみよう。

調
べ
る

p.19

- 3 地図の中で方位を表す主な記号
 - ・ 方位磁針のイラストや、北のみを表すタイプがあることを知り、実際の地図でも確認する。
- 4 地図記号をおぼえよう
 - ・ 誰が見ても分かるように地図記号があることや、土地利用のされかたによって色分けされていることを知る。

p.20

- 5 地図記号クロスワードパズル
 - ・ ヒントを頼りにたてのマスに入る言葉と横のマスに入る言葉を考え、地図記号の理解を深める。
- 6 地図記号ビンゴで遊ぼう
 - ・ 地図記号をビンゴの□に書いたり、地図記号を読んだりする活動を通して、地図記号の意味を理解させる。

ま
と
め
る

p.21

- 等高線について学ぼう。
 - ・ 等高線、断面図の色分けを行い、土地の高さや斜面の様子を表していることを理解させる。
- ※ 地図帳に慣れ親しむ活動を継続的に行い、地図帳の使い方を理解させる。
 - 例) ・ 地名探し
 - ・ 都道府県を紹介するスピーチ
 - ・ 旅行などで行った場所を白地図に示す

※宮城県の位置について、具体的に周囲の県名や所属する地方名で表現できるようにさせる。また、場所については、白地図を活用して捉えさせるようにする。

- ・ 「宮城県は、東北地方にあり、北は岩手県、秋田県、西は山形県、南は福島県に接しています。東は太平洋に面しています。」

<押さえること>
地図帳の使い方を理解しているか。

教科書の活用

○ 地図帳の使い方に慣れる活動を継続しながら、各小単元において、教科書や副読本に示されている、地図に関する内容を取り上げて確認する。教科書 p34～p35 には、「ひろげる」として地図記号の成り立ちが写真入りで掲載されているので、活用したい。

p.18,19	大単元名	地図帳を開こう	小単元名	1 地図から分かること 2 正しい方向を知るには 3 地図の中で方位を表す主な記号 4 地図記号をおぼえよう
---------	------	---------	------	---

【小単元の指導に当たって】
 本小単元は、基本的な地図の見方を学ぶ内容である。地図を見て分かること、方位や地図記号について取り上げ、社会科の学習に役立てることができるようにすることがねらいである。指導に当たっては、自分の教室や学校の周りなど身近な場所を想起させながら、地図の見方を育てたい。

1 地図から分かること
 どこに何があるのか探したとしても、位置関係や距離まで意識することは意外と少ない。地図から分かることは多いことに気付き、便利な物だということを理解させたい。

3 地図の中で方位を表す主な記号
 地図内に描かれている方位記号と、ほとんどの地図は北を上にして描かれていることを知る。

2 正しい方向を知るには
 体の向きが変わっても方向を表せる、方位の有効性を知り、自分の教室の東西南北を確認する。

4 地図記号をおぼえよう
 地図記号については、そのものの形や意味を考えさせながら楽しく学ばせたい。また、絵地図では伝わりにくいことも、地図記号を使うことで分かりやすくなることに気付かせたい。

p.20,21	大単元名	地図帳を開こう	小単元名	5 地図記号クロスワードパズルに挑戦しよう 6 地図記号ビンゴで遊ぼう 7 等高線について学ぼう
---------	------	---------	------	--

5 地図記号クロスワードパズルに挑戦しよう
 ヒントの記号を見て、マスの中に記号の表すものの名前を書く。マスを広し分かりやすく表示して楽しく行いたい。

7 等高線について学ぼう 作業1
 最初に、図Bに高さごとに色分けする。
 次に図Aを色分けすることで、地図を立体的にイメージできるようにする。

6 地図記号ビンゴで遊ぼう
 ビンゴでは基本的な地図記号を扱っている。このページを印刷するなどして、何度か取り組ませることも考えられる。
 慣れてきたら、地図記号を他の物に、朝自習の時間を活用して行っても良い。

7 等高線について学ぼう 作業2
 図Bを基に傾斜が急な方はどちらかを確認させる。
 そこから等高線との間隔が広いほど傾斜が緩やかで、狭いほど傾斜が急であることを理解させる。